

2024年10月23日

道なき道約 8,000 kmを走り、ランドクルーザーを鍛える TEAM LAND CRUISER TOYOTA AUTO BODY ダカールラリー2025 に参戦

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：松尾勝博）のラリーチーム TEAM LAND CRUISER TOYOTA AUTO BODY（以下、TLC）は、2025年1月3日～17日、サウジアラビアで開催されるダカールラリー2025 に参戦します。当社で開発・生産するランドクルーザー300 GR SPORT 2台でエントリー。監督とドライバーを当社社員が務め、競技区間の合計タイムを競います。

当社がダカールラリーに参戦する意義は、「クルマを鍛え、人を鍛えること。そしてランドクルーザーを信じ、ご愛用いただいているお客さまに、未来のもっといいランクルをお届けすること」。その目的を達成するための最高の舞台として、TLC は1995年から30年間連続でダカールラリー市販車部門*に参戦。2014年から11連覇を果たしています。

ダカールラリーは約2週間で、砂丘あり、岩場あり、水場ありの道なき道約8,000 kmを走ります。TLC は当社開発スタッフやトヨタ自動車をはじめとするラリーカー開発チームと一丸となって、ラリーカー開発を進めています。前回大会の経験をもとに、走破性能向上を目指し改良してきました。TLC はメンバー全員が心をひとつにして、12連覇を達成し、お客様にもっといいランドクルーザーをお届けするために、万全の体制で挑みます。

* 市販車部門：安全装備など、変更が義務付けられる箇所以外は市販車に近い状態で走行することを前提にした部門。ベースとなる市販車の性能の高さが重視されます。



【ダカールラリー】

砂漠や硬い岩場の連なる山岳地帯など、道なき道を走破するクロスカンントリーラリー競技の一つ。

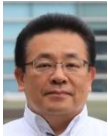








1978年12月、フランスのティエリー・サビーヌの発案によりスタート。

パリをスタートし、サハラ砂漠を越えて、アフリカ大陸のセネガルの首都ダカールをゴールするルートであったため、「パリ・ダカ」

と呼ばれてきた。その後、開催地域の政情不安により、2009年から2019年は南米開催に。2020年からはサウジアラビアに舞台を移し、開催されています。始まりの場所「パリ・ダカール」から離れた今も、大会名には「ダカール」の名が引き継がれました。

1日の走行行程（ステージ）の多くは、宿泊地（ビバーク）と競技区間との移動区間（リエゾン）があり、1日の走行距離が約1,000kmに及ぶこともあります。ルートは、区間距離と目標物が示された簡易的なロードマップで示されます。四輪の場合は、コ・ドライバーと呼ばれるナビゲーターが同乗しており、ドライバーにルートを指示します。

1. チーム体制 名称：TEAM LAND CRUISER TOYOT AUTO BODY（略称：TLC）

体制	氏名	年齢	備考
チーム代表	ホダ アツシ 本多 篤 	58	トヨタ車体(株)コーポレート本部 領域長 2021年4月、チーム代表に就任。 感謝とチームの和を大切に、ダカールラリー参戦活動を通したもったいいランクルづくりを目指す。
チーム監督	カタニ ムツシ 角谷 裕司 	50	トヨタ車体(株)広報室 2014年チーム監督に就任以降、チームを11連覇に導いてきた。男子ハンドボール日本代表も経験。
1号車	ドライバー ミウ アキラ 三浦 昂 	41	トヨタ車体(株)広報室 2007年、ダカールラリー初参戦。2016年、ドライバーに転向。ランドクルーザーシリーズの開発にも携わる。
	ナビゲーター ジャン・ミッシェル・ポラト 	53	TLC 契約ナビゲーター 2021年大会よりTLCに加入。長いナビゲーター経験で培った高い情報収集力が武器
2号車	ドライバー ロナルド・バリ 	42	TLC 契約ドライバー 2021年大会よりTLCに加入。ラリーのほか、サーキットレースドライバーとしてもモータースポーツ活動に参加。 2023年大会市販車部門優勝ドライバー。
	ナビゲーター ジャン・ピエール・ギャルザン 	61	TLC 契約ナビゲーター 2016年～2020年、チームの4連覇に貢献。一度チームを離れたが、2025年大会でTLCに復帰。
チーフメカニック 兼エンジニア	フィリップ・シャワ 	65	TLC 契約メカニック 1995年のチーム発足以来、メカニック陣をまとめあげてきた。またエンジニアとしてTLCのラリー車開発をけん引。
日本人メカニック	タガミ フミヒコ 谷上 文彦 	32	福岡トヨタ自動車(株)メカニック 2023年4月よりチームに加入。今回が2回目のダカールラリー参戦
	ツダ テツヤ 尊田 哲哉 	31	福岡トヨタ自動車(株)メカニック 2024年4月よりTLCに加入。今回がダカールラリー初参戦

◆その他、フランス人メカニック、スタッフを含む計26名で参戦

*年齢は2024年10月23日時点

2. 参戦車両



【ランクルーザー300 GR SPORT ダカールラリー2025 仕様車スペック】

項目	スペック内容
ベース車両型式	FJA300L
エンジン型式	F33A-FTV 型
総排気量	3,345cc
全長 / 全幅 / 全高	4,965mm/1,990mm/1,975mm (車高は上げているため市販車と変わります)
最高出力	253kw 以上 (344ps 以上)
最大トルク	815N・m 以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング (BOS 製) 後/トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (BOS 製)
ショックアブソーバー	ラリー専用ショックアブソーバー (BOS 製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (ブレーキパッドのみ: エンドレス製)
トランスミッション	Direct Shift-10AT (電子制御 10 速オートマチック) *1
タイヤサイズ	285/70R17 (TOYOTIRES 製 OPEN COUNTRY M/T-R) *2
ホイール	マグネシウム鍛造 17 インチ×7.5J (ENKEI 製)
駆動方式	4 輪駆動 (フルタイム 4 WD)
主要装備	電動デフロック (フロント、センター、リア) E-KDSS *3

*1) 車両規則に基づくラリー専用制御にて、1 速から 8 速(後進シフト有り)までのマニュアルモードで操作

*2) OPEN COUNTRY M/T-R 2023 スペックをベースに、ケース構造の改良と浅溝化により、剛性アップと軽量化を実現。
また、構成部材には環境に優しいサステナブル素材を採用。

*3) E-KDSS (エレクトロキネティックダイナミックサスペンションシステム) はオンロードの走行安定性とオフロードの走破性を高次元で両立させる。ランドクルーザー300 で世界初投入されたシステム。

ラリー車両では、車両規則に基づく専用マニュアル制御に変更(市販モデルの E-KDSS はオートマチック制御)

3. ダカールラリー2025 大会概要

(1)開催期間 2025 年1月3日~2025 年 1 月 17 日 計 15 日間 (うち、1 日は休息日)

(2)開催国 サウジアラビア王国 (スタート:ビーシャ、ゴール : シュバイタ)

中東サウジアラビア 1 개국での開催は今回で 6 回目。

プロローグと 12 のステージで構成され、サウジアラビア南西に位置する「ビーシャ」をスタートし、北上したのち、南東部のエンブティクオーター (何も無い大地) と呼ばれるルブアルハリ砂漠の玄関口である「シュバイタ」でゴールを迎えます。

前回大会、多くのチームが苦しんだ「48Hクロノステージ」は大会の前半に設定され、高速セクションやテクニカルセクションなど、約 950km におよぶ変化に富むさまざまな路面で構成されるステージを 2 日間で走り切らなければなりません。さらにメカニックによるサービスを受けずに 2 つのステージをクリアする必要がある「マラソンステージ」も予定されており、往復約 800km の競技でクルマにいかにかダメージを与えずに走るかが戦いのカギを握ります。

また、少なくとも 5 つのステージでオート部門とモト部門が違うルートをたどることになります。オート部門の競技車はモト部門の通ったわだちをたどることができないため、高いナビゲーション力が求められます。さらにエンブティクオーターでの競技も 3 ステージ予定されており、乾いた塩湖や大砂丘群が待ち受けます。

4. 参戦カテゴリー

市販車部門にエントリー

オート部門	グループT 1	ラリー専用プロトタイプ
	グループT 2 (市販車部門)	市販車をベースとしたラリー仕様車
	グループT 3	ラリー専用プロトタイプSSV (サイド・バイ・サイド・ビークルと呼ばれる小型2人乗り4輪バギー)
	グループT 4	市販SSV
トラック部門	グループT 5	
モト部門	2 輪バイク	
	1 人乗り4 輪バギー	

【先回大会】

・エントリー 総勢 428 台 (内オート部門 : 159 台)

TLC のラリー参戦活動はパートナー企業の皆さまによって支えられています。

TLC PARTNERS

Thank you for your support!

トヨタ自動車株式会社	Abdul Latif Jameel Motors	TOYO TIRE株式会社
株式会社榎屋	豊田通商株式会社	トヨタ紡織株式会社
株式会社江口巖商店	関西ペイント株式会社	古河電気工業株式会社
共栄タイヤサービス株式会社	株式会社デンソー	東海興業株式会社
株式会社小糸製作所	株式会社ニッコー	豊臣機工株式会社
株式会社TDC	株式会社東海理化電機製作所	小島プレス工業株式会社
豊和化成株式会社	ウチダ株式会社	トリニティ工業株式会社
川崎設備工業株式会社	株式会社 きんでん	林テンプ株式会社
株式会社大林組	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	丸高株式会社
株式会社イノアックコーポレーション	小野電気株式会社	株式会社中外
新和薬品株式会社	株式会社豊田自動織機	三井住友海上火災保険株式会社
住友商事株式会社	株式会社ジェイテクト	日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
株式会社アイシン	石原商事株式会社	中央電気工事株式会社
豊田合成株式会社	中央発條株式会社	清水建設株式会社
株式会社ATグループ	トヨタホーム株式会社	株式会社トピア
白月工業株式会社	株式会社魚国総本社	サントリービバレッジソリューション株式会社
住友電気工業株式会社	タケショウ株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
三岐通運株式会社	株式会社MINEZAWA	カリッ株式会社
株式会社大気社	株式会社アウトソーシング	株式会社東郷製作所
エームサービス株式会社	ビューテック株式会社	太平洋工業株式会社
株式会社クリモト	株式会社メイダー	株式会社杉浦製作所
株式会社三五	中川産業株式会社	株式会社青山製作所
株式会社セカイズ	ニューライトサービス株式会社	愛知製鋼株式会社
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	株式会社ウイテック	株式会社コベルク
アスカ株式会社	日本ゼネラルフード株式会社	NTP名古屋トヨペット株式会社
株式会社フジタ	株式会社ジャオス	株式会社ユーネットランス
HRプロビジョン株式会社	三栄工業株式会社	岐阜車体工業株式会社
株式会社東海特装車	株式会社トヨタ車体研究所	福岡トヨタ自動車株式会社
MOTUL Japan 株式会社	カシオ計算機株式会社	ブリッド株式会社
PIAA株式会社	株式会社アライヘルメット	豊通ユニファッション株式会社
エンケイ株式会社	株式会社エンドレスアドバンス	株式会社モンベル
シマツ株式会社	株式会社Jessica	

 **TEAM LAND CRUISER**
TOYOTA AUTO BODY

世界の暮らしに 笑顔届けたい

